



女性が輝く、  
活力ある  
斐崎を  
目指して!!



私たちの最も身近な暮らしの場として、地域は家庭とともに重要な要素を占めています。そして、地域の様々な活動に対する女性の意欲は高まっており、地域活動の担い手として女性にも大きな期待が寄せられています。女性の意欲や能力を地域に活かすことは、様々な課題を抱える地域社会においても有益であると同時に、女性自身の成長が図られるという双方向の効果をもたらします。

人口の半分を占める女性の皆さんの能力が一人ひとりが望む形で、社会に発揮できるようになれば、地域はもっともっと強くそして豊かになっていくことでしょう。



## 女性のしなやかな視点と感性を市政に 藤崎市女性議会を開催

2月9日、市議会本会議場で第1回藤崎市女性議会が開催されました。同議会は、市制施行60周年記念事業として、女性の視点から市民の声を市政に反映させることを目的に実施されたもので、市内の各種女性団体の30代から80代までの18名が女性議員として参加しました。

開会にあたり、主催団体を代表して女性団体連絡協議会の浅川節子会長が「女性の繊細な感性を市政に取り入れるとともに、この議会が、女性の意識改革と社会参画、そして男女共同参画社会の実現に寄与することを願ってやまみません。」と挨拶をされました。



挨拶をする浅川節子会長

また、本会議では、福祉・環境・教育といった多岐にわたる分野で一般質問や答弁が展開され、本職の議員に勝るとも劣らない質問を行なう光



質問をする林紘子議員と熱心に聴き入る傍聴者

景も見られたほか、傍聴席には多くの市民が駆けつけ、女性議会に対する関心の高さをうかがわせていました。

※今回の内容は議会だより163号又は市HPでもご覧になれます。

また、今年度は活動のメインが女性議会であったことから、市議会の傍聴に積極的に参加したほか、女性参政権獲得に貢献した市川房江の足跡をたどる(財)市川房江記念会「女性と政治センター」と、国会議事堂見学研修なども行いました。



女性と政治センターで講演を聞く会員の皆さん

## 男女がお互いを認め合い、 協働する街の実現に向けて

現代社会は、様々な社会環境の変化の中にあります。男女共同参画社会の実現は、これらの社会環境の変化から課題として表面化してきた諸問題の解決の糸口となり、女性にとっても男性にとっても暮らしやすい社会の形成を目指すものです。

本市では、これまでも家庭・地域・職場などで男女が対等なパートナーとして尊重され、社会のあらゆる分野に参画できるように男女共同参画の推進を図ってきました。しかし、残念ながら長年にわたり形成されてきた固定的な性別役割分担意識などは、依然として根深く残っているのも事実です。

このようなことから、男女共同参画の基本的な考え方を示し、男女共同参画社会の早期実現のための施策を総合的かつ計画的に推進していくため、平成25年3月には、「藤崎市男女共同参画推進条例」に基づき、「第2次藤崎市男女共同参画推進計画」を策定し、各種施策に取り組んでいるところです。

「女だから」、「男だから」という固定化された役割分担意識や慣行にとらわれることなく、男性も女性もお互いの人権を尊重し認め合い、そして相互に協力しあう社会の実現を目指して、今後も引き続き取り組んでいきます。



## 女性団体のネットワークを活かしたまちづくり 藤崎市 女性団体連絡協議会

藤崎市女性団体連絡協議会は、市内の女性を中心とする8団体で組織されています。主な活動内容は、2ヶ月に1度の理事会を行なうほか、各団体の活動について情報共有・相互連携を図り、女性が活躍する明るく住みよいまちづくりのための活動をしています。